年間授業計画　新様式例

高等学校　令和7年度（５学年用）　　教科 地理歴史　　科目　地理探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　5 学年　A　組～　D　組

使用教科書：（　地理探究（帝国書院）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本を含む世界の生活と文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身につける。	地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察しているか。国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断する。	地理的事象について関心をもっているか。また、課題意識をもち、意欲的に追求する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第1章の目標** ①地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 ②地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 ③自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1節　地形 1　地形の成因と地球表面の起伏 2　地球規模の大地形 3　河川流域と海岸にみられる小地形 4　そのほかの特徴的な小地形 2節　気候 1　気候の成り立ち 2　気候と生態系 3　世界の気候区分 4　さまざまな気候帯 5　気候変動と異常気象 3節　日本の自然環境 1　日本の地形 2　日本の気候 3　開発に伴う災害と防災・減災の取り組み	第1章の評価規準 ①地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ②地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ③自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査（1学期中間考査）			○	○		1
	第2章の目標 ①資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 ②資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 ③資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1節　農林水産業 1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　日本の農業の現状と課題 5　世界と日本の林業 6　世界と日本の水産業 2節　食料問題 1　世界の食料問題 2　日本の食料問題 3節　エネルギー・鉱産資源 1　エネルギー資源の種類と利用 2　化石燃料の分布と利用 3　電力の利用 4　鉱産資源の種類と利用	第2章の評価規準 ①資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ②資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ③資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査（1学期期末考査）			○	○		1
2学期	**第2章の目標** ①資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 ②資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 ③資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	4節　資源・エネルギー問題 1　資源・エネルギーをめぐる課題 2　日本の資源・エネルギー問題 5節　工業 1　工業の発達と種類 2　工業の立地 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　工業の知識産業化とスタートアップ企業 6　日本の工業 6節　第3次産業 1　経済発展と第3次産業 2　商業の現状と変化 3　商業以外のさまざまな第3次産業	第2章の評価規準 ①資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ②資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ③資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○ ○	○ ○	○	1 16
	定期考査（2学期中間考査）			○	○		1
	第4章の目標 ①人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 ②人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現すること。 ③人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。	1節　人口 1　世界の人口 2　人口の移動 2節　人口問題 1　世界の人口問題 2　日本の人口問題 3節　村落と都市 1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の成立と形態・機能 4　都市圏の拡大と都市の構造 4節　都市・居住問題 1　発展途上国の都市・居住問題 2　先進国の都市・居住問題 3　日本の都市・居住問題	第4章の評価規準 ①人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ②人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ③人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査（2学期学年末考査）						1
							合計 70